

3 本時案③【活用場面】（3時間目／4時間中）

(1) 本時のねらい

- 自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりすることができるようにする。
- 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

(2) 本時の学習評価

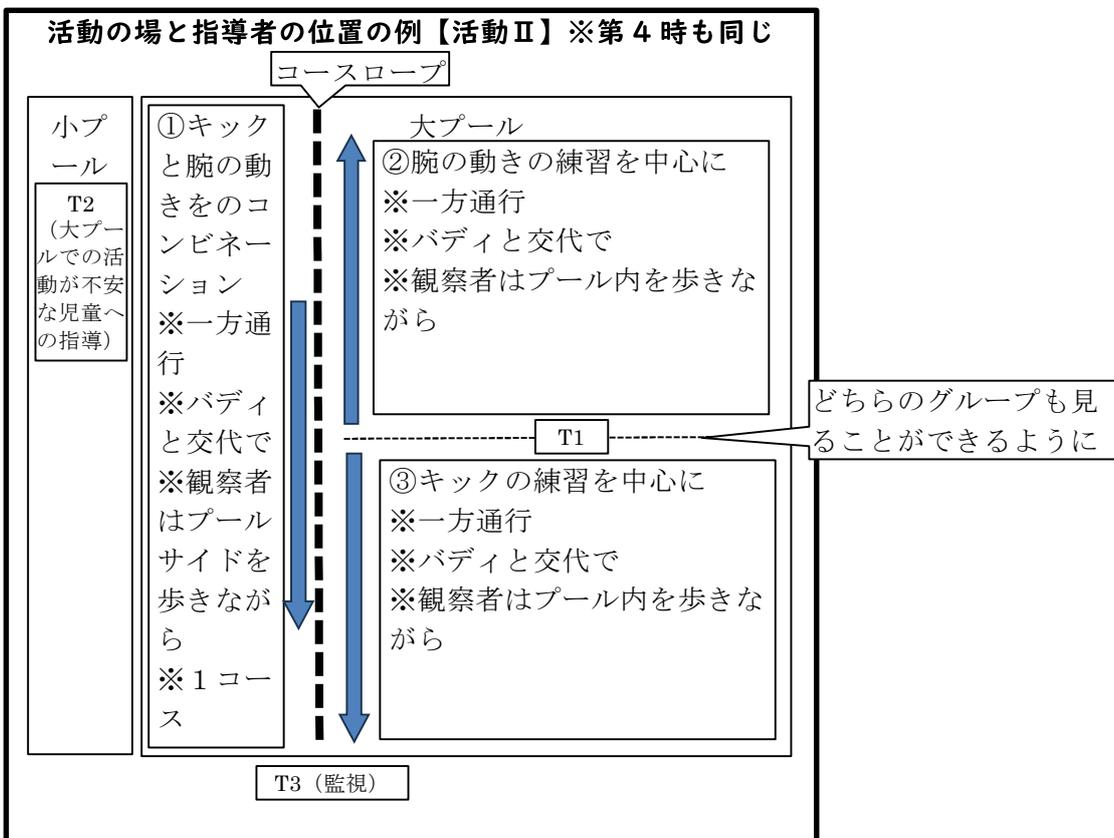
- 自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。
- 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。（思考・判断・表現）

(3) 学習過程

時間	○学習活動 ・指導上の留意点	評価規準及び 評価方法
はじめ 1 2 分	1. 挨拶、健康観察 2. 本時のめあてや評価項目の確認	
	<p>めあて 自分の課題に合った解決方法を選んだり、考えたことを友達に伝えたりしながら背泳ぎにチャレンジしよう</p> <p>評価 • 自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 • 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (思考・判断・表現)</p>	
なか 2 5 分	<p>• 前時に学習した背泳ぎの行い方（ポイント）を確かめ、その中で自分ができるしていないと感じる部分を自分の課題として意識するよう伝える。自分の課題を明確にしたらバディとその課題を互いに伝え、見合う視点にさせる。</p> <p>3. 準備運動、シャワー</p> <p>4. 活動Ⅰ 背泳ぎにつながる補助運動（浮くことを中心に） ○いろいろな水慣れの運動の行い方を知り、取り組む。 • 伏し浮き、け伸び（壁を蹴った後、体の力を抜くことを意識させて） • ラッコ浮き（ビート板を胸の前で抱え、体の力を抜くことを意識させて） • 背浮き（体を大の字にして、体の力を抜くことを意識させて） • ビート板を引っ張ってもらう（ビート板を枕のようにして）</p> <p>5. 活動Ⅱ 背泳ぎ（自分の課題に合った練習方法を選びながら） ○自分の課題を確かめ、課題解決につながるような方法等を選びながら取り組む。 • 常にバディと一緒に見合ったり、補助し合ったりするように伝える。試技の後は、必ず出来具合や見て気付いたこと等を伝えさせる。 • ぶつからないように練習の種類によって活動エリアを分けたり、そのエリアの動線を説明したりする。（活動の場の図参照）</p>	<p>おおむね満足 (観察・ワークシート) 自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。</p> <p>十分満足 課題の解決のために試行錯誤を繰り返しながら方法等を選んだり、考えたりしている。</p> <p>努力を要する児童への手立て • ポイントに沿って一つずつ出来具合を尋ね、課題を明確にする。 • これまで取り組んだ方法を想起させ、よいものを試すように促す。</p> <p>おおむね満足 (観察・ワークシート) 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>十分満足 自己や仲間の考えたことをいろいろな方法でより詳しく伝えている。</p>

まとめ 5分	6. 本時の振り返り ○本時のめあてに沿って振り返り、次時への意欲を高める。 ・次のことについてその場で振り返り、その理由や感想をバディと共有させる。この内容は、教室に戻り、学習カードに記録させる。	努力を要する児童への手立て ・見てほしいところを再度知らせたり、ポイントに沿ってできているかを伝えたりさせる。
	・自分の課題に合った解決方法を選ぶことができたか ・互いの課題解決のために考えたことを友達に伝えることができたか ・課題解決のために試行錯誤しながら取り組んだり、互いの解決のために考えたことをいろいろな方法で詳しく伝えたりしている児童を紹介し、望ましい姿を全体に広げる。 ・次時はこれまでの学習を生かしてチャレンジすることを知らせ、意欲を高める。	
	7. 整理運動、健康観察、挨拶	

※準備運動、活動Ⅰの活動の場は前時と同じ



3時間目の学習カードの例

- ①自分の課題に合った解決方法を選ぶことができましたか () ※できたら○、できなかったら△で
 ②解決するために頑張ったことや工夫したこと等を書きましょう。
 ()
 ③互いの課題の解決のために、考えたことを友達に伝えることができましたか () ※できたら○、できなかったら△で
 ④考えたことを友達により分かりやすく伝えるために工夫したこと等を書きましょう。
 ()
 ◆背泳ぎにチャレンジして思ったこと、気付いたこと等を書きましょう。
 ()